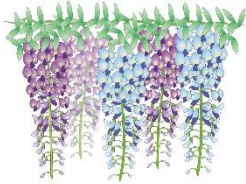


# 橋北小すくすくサポーター通信



例年より早く満開を迎えた桜を愛で雑木林  
の中に咲く藤を見つけて和んだのはもう去りし

日々、ツツジ色に染まった生垣の低い羽音に耳を澄ませば、汗ばむ蒼穹の五月ものこりわずか。テレビのチャンネルがまだ回されていた頃、鏡の向こうから毎週最後に出てきたヤングマンはもう立ち上がらない…流るる時に想いを馳せるこの頃です。今年の梅雨は高温で多雨との予報、体調管理には十分お気を付けください。

いつの時代も変わらず守り続けたいのは子供たちの笑顔。26名の新しい仲間を迎えた橋北小学校は今年度も元気にスタートしています。

平成30年度5月号  
橋北小すくすくサポ事務局



すくすくサポーターのみなさんの活動も  
始まっています。

5月8日 5年生田植えの日

雨が心配なお天気でしたが、今年も浜一色町にある地域の方の田んぼの一角をお借りして田植えをしました

裸足で田んぼに入った子どもたちは、今まで経験したことのない感触に驚きを隠せない様子でした。泥状の土が子どもたちの足をつかみます。苗を踏まないよう足を運ぶのも一苦労。

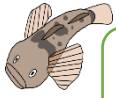
子どもたちは、地域の方や担任の先生に声をかけてもらいながら田植えを楽しみました。泥だらけになった足は、そばに流れている水路の水できれいに洗います。

毎年お世話になっています3名の山本さん、野津さんに加え、今年はJAからもお手伝いの方が来てくださいました。また、諸岡さんには子どもたちの様子をずっと撮影して頂きました。皆さん、本当にありがとうございました。

学校でも育てられるようバケツ稲も準備もしていただきました。



3日後、山本郁男さんが「田んぼに棲む生き物」を届けてくださいました。たくさんエビの仲間とゲンゴロウ、ハゼの仲間と思われる魚。子供たちにとってはまさに生きた教材です。



6月21日、4年生の環境調査（三滝川探検）に於ける見守りサポーターを募集しています。



5月22日、1年生が東門前の花壇とプランターに、ベゴニア、ポーチュラカ、日日草、サルビア、サンパチェスの苗を植えました。花と緑いっぱいサポーターの山田節子さん、伊藤紀久枝さんに来ていただき、植え方のポイントを教えていただきながら、一つ一つの苗を丁寧に植えていきました。植えた苗が、元気に花を咲かせるのがとても楽しみです。

## 子供たちの応援団『すくすくサポーター』を募集しています

### 「橋北小すくすくサポーター」ってなに？

教育現場の多忙さが伝えられて久しく、ご存知の通り今年度から段階的に小学校でも外国語・道徳の教科化、プログラミング教育の導入が始まります。授業数が増え先生たちの負担も今以上に大きくなる中で、私たちにも何かお手伝いできることはないだろうか…と2014年から検討を重ね翌年ボランティア組織として立ち上がったのが「橋北小すくすくサポーター」です。



### 何をやるの？

「学校が必要とする支援活動」です。学校、先生、保護者が思う「あったらいいな、できたらいいな」を橋北地区のみなさんの力をお借りして実現していきます。

### すくサポ事務局も募集しています

学校と地域の橋渡しをして頂ける人を探しています。サポーターさんへの連絡など現在は教頭先生が担当していますが年度替わり異動と重なった場合に備え事務局内でも出来るようにしたいと思っています。

また、すくサポ通信発行のお手伝いや事務局会議（月一程度で開催中）への参加も大歓迎です。

「できる時にできる事から」がモットーです。誰からも強制されません、誰も強制しません。是非ご一報ください。

### 具体的には？

上に紹介した「田植えの体験」や「花の栽培」の他、「図書室の整理」「読み聞かせ」「昔の体験談」「陶芸」「環境調査」などなど、これまでにたくさんの方々からいろいろなサポートをして頂きました。学校内だけでなく登下校時をはじめ、校外活動時の安心安全見守りも大切なサポートとしてお願いしています。昨年の大雪の時は何人もの方に助けて頂き、一人も休むことなく全児童が時間内に登校出来ました。

橋北小学校すくすくサポート事務局  
電話 330-0026  
和田教頭先生までご連絡をお願いします。  
（セキュリティー上学校内で活動して頂けるサポーターは登録制となります）



活動、募集内容は随時お知らせします。今年度も宜しく願い申し上げます。